京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價　一枚金二錢　一ケ月前金三十錢　三ケ月前金九十錢　六ケ月前金一圓八十錢　郵稅一ケ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金　五號活字十七字詰一行一回金十錢　特別廣告五號活字一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久鋼一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社　電話大三番　振替口座京城四五一六番
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町七番地

京城新報

基督教傳道者に警告す

朝鮮に於ける宗教を言はゞ、先づ佛教と基督教とを推す可きも、在來の朝鮮佛教寺院なるものは唯鮮人僧侶の衣食をなす所と云ふを以て當れりとす、從つて宗教の機關として何等見るべきものなく、又之に住む僧侶なるものも布教傳道に從事せず、所謂小乘的なるが故に、朝鮮の佛教方面は、母國人の經營に成れる寺院教會にいて、其活動を示しをるに過ぎず、而も其信徒は母國人に多くして朝鮮人に少なく、母國人の爲めの寺院教會なるが如き觀なきに非ず、基督教に至りては其大部分は外國人の經營する所なるも、信徒の多數は朝鮮人なるの點に於て、朝鮮人間に最も優勢なる地位に立てるものと云ふを得可きなり、然して此等基督教徒の多數が下層階級の鮮人にして朝鮮の下級人民を通じて其心靈界を司る者亦此基督教に待つべきもの多しと云ふも不可なきなり、貴族兩班上流社會の統治に最も重きを置ける朝鮮統治當局者も、曾て朝鮮基督教徒の多數は下級社會に存せるの事實を認めて之を公言せしことさへあり、朝鮮の如き上流の社會と下級の社會ありて其間に中流社會を存せざるだけ、上流社會は益々寡み、下級人民は物質的缺乏を感ずるの甚しき餘り、精神上に慰藉せらるゝ所なかるべからず、此に於てか基督教は鮮人の心靈界を開拓し慰藉するの上に於て最も大なる責任を有するもの也、朝鮮に於ける基督教の地位たるや上の如し此間にありて同教の傳道宣布に從事する者、內外人たるを問はず、將た鮮人牧師たるとを問はず、其責任は一層の大を加へずんばあらず。彼等は居常信徒を啓發し指導するの責任あると同時に、進んで教旨を說き眞理を傳へ以て鮮人の心靈界に悠遊せしむることを期せざるべからず。而して眞理は必らず善良なる結果を生ずてふ格言を實際に現はすの覺悟なかるべからず。殊に人類思想の歷史に於て有神說の最も精を究めたる基督教が、教旨に於て天國の光榮を示し、一方にいては地獄の恐怖を示して人心を警醒し、其聖書中又服膺すべき倫理を說けるもの少なからざるを見ても、眞理に富める宗教なることは、今更吾人の喋々を要せざるなり。然るに今日半島に於ける基督教會の鮮人教化の效果や如何、實に吾人をして驚歎に堪へざらしむるものあり近時彼教徒中より不逞の徒を出せしが如き、又其教會に屬せる學校中より危險思想を抱ける者を出せしが如き基督教の面目を損せずと言ふを得可き乎、這は傳道の局に當れる者が自己の責任を解せざるに因て起れるものにして、基督教の眞理は之等責任を解せざる不良傳道師の爲に湮沒せられ、終に忌むべき效果を齎らすのみならず頃日朝鮮に於ける基督教會の不評判は隨所喧傳せらるゝに至る、嗚呼眞に嘆かはしき極みにあらずや。吾人は此際在鮮基督教の衛教者が能く其本分を守り誠實に教理の宣傳に盡すに非ずんば、折角彼等が扶植したる基督教の勢力も終に地に拂ふに至る可きを警告す。

正訂　前號社說中時局經濟とあるは時間經濟の誤りに付訂正す

俳　句

◎書　師
繪の具皿にいろ〳〵の色冴かへる

◎百　姓
納屋の隅に敏鎌鋤鍬冴返へる

◎山　莊
山の戶や筧の先きの冴へ返へる

◎園　藝
溫室の扉密閉す冴へかへる朝

◎丁　稚
荷を肩にちよこ〳〵走り冴返へる

◎金　筋
冴返る朝出急くに車夫屁放り腰

◎漁　夫
怒濤舷を打つて冴へ返へる礒

◎酌　婦
冴へ返へる手の勝に酒搭り込めば

◎衛　士
冴へ返へる凄き劍銃の夜光りも

◎木　匠
ごし〳〵と冴ね返へる也木挽小屋

●飛び〳〵日記

仁川　たび家丹叢投

△冴返る▽……（一）

併合のご威德？チナ譯でも有まいが往古大江戶で巾を利して蜀山人が物せし戲歌の中に如斯のが有る『こうだい寺育て上げたる姥櫻、何日もねん〳〵ころ〳〵に咲く』ッてイヤ冬季の朝鮮も年々頃々に餘程暖かく成つて來た、小寒の入り以來、大寒の入り後も猶の事、昨日も、今日も、明日も、と云ふ調子、是れなれば梅は素より彼岸櫻もと？思つたは副國の夢!!、覺めて見りや昨夜來の風!!雨！霰！、嵐に添ふてまんじ巴と降る粉雪!!、矢つ張り朝鮮は何處迄も朝鮮式なり、餘寒＝春寒＝、ア、冴返りてける哉。

油斷成らぬは三寒四溫、ご互の攝生こそ專一々々。

◎獵　軍
冴返る疎髯に水ッ粥汁の滂沱たる

文範　淋しき日（下）

人の子

そして傷いた心の寂寥と悲哀の色とを一層鮮かにしました、佛蘭西教會の鐘がガン〳〵〳〵と響きます、暗い一室に監禁されてあるやうな魂は聲なき支配者の怒りに觸れたやうに怖れ慄へてゐます、誰れかゞ枕元で『貴樣は自分の感情を誇張して勝手に悶へ狂ふてゐるのだお前は嘸苦しいだろう同情するよと謂はれりや滿足するのか』といつてカラ〳〵嘲笑する聲が壁の中に消ねました、けれども私は泣きたい虛僞の淚が盡きて心の底から眞の微笑が唇を振はす時まで……心の空虛を充たそうと思ふことも時にはありますが若い女性の魔のやうな黑い頭髮と戒めの果實を見るやうな肉の誘惑に面を蔽はずにはゐられません、私は日蔭に寂しく咲き匂ふてゐるやうな貴女を記憶のページから拭き去ることができません、さらばルキヤさん私は何時までも斯うした若い苛々した氣分の中に活きながら樂しい心の春に逢ふ日を待ちましよう

外事一束

▲病氣の爲墺國外相エーレンタール伯辭去し駐露大使ベルヒトルト伯後任
▲北米加奈陀上下兩院間に確執起る原因は上院否認權問題ならんといへり

▲英國●藏相長文の論文を草し統一黨が國民强制保險法に對する反對を駁す
▲伯林●社會黨議員議會に獨は支那共和國に膠州灣を還付すべしと言明せり
▲英獨●協商問題に關し英外相演說して曰く英は獨との親交維持保をば切に
▲希望●するも而も之れに依り他國に對し原因なく攻擊政策を採るに非ずと
▲米國●上院移民委員會愈移民法案の修正を行ひ其の結果一般人民は旅行券
▲下附●取締規約に滿足し上院亦之れが爲め國際紛議を惹起する意を有せず
▲法案●は支那人及南方亞細亞印度より渡來不良民排斥を以て其の主旨とす

梁川庄八

小金井蘆洲演

第百九回

夫『何の因果で此責苦、世には神も佛もなきものか、春日明神樣我子を助け給へ、天道樣は何の爲に此世を照らし遊ばしますぞ、僅か十三の小伜惡黨で鹿を殺せしに非ず、無邪氣に打つた其棒が誤つて急所に中つて死せしものを殺すとは何事ぞ、祐け給へよ明神樣左なくば伜と共に此身の命を絕ち給へ』と矢來を破つて飛込まんとする、此時見物一同も坐ろ哀ろを催ほして大勢『れ〳〵お役人樣雛子屋の伜を助けて下さい、何うか雛子屋の伜を助けて下さい』と叫び立る其聲は山岳に響き渡つて心なき草木の風に戰ぐも共に助けな呼ぶに似たり、爾うかと思へば此方では見物『やあ〳〵興福寺の御出家、人を助くるは出家の役目ではないか、坊主の癖に淚一滴零しもせず、眞面目な面をして澄して居るとは、扨も憎々しき糞坊主……惡黨坊主』見『やあ〳〵お奉行樣先づ興福寺の道心坊を先きに石子詰に爲て下さい』と叫びながら、思はず繩張の中に踏込む人の數知れず、役人共は躍起となつて之を制すれども肯かばこそ、然うかと思ふと此方には又迚も助からぬ生命か不便な事よ、南無阿彌陀佛〳〵と老眼に淚を湛へつゝ念佛を唱へて居る老翁もありまする、御話變つて小刀屋へ宿について、梁川庄八例によつて一風呂這入て上つて來て酒肴を取寄せ、一ト口呑み初めましたが、何となく市中が騷がしい、どうも



狀況が變つて居るので　庄『コレ〳〵女中一寸主人に會たいが呼んでくれ』女『畏りました』と女中は出て行くと、入替つて主人善兵衛それへ參りまして、善『ヘエ旦那樣定めしお疲れさまで、何度有難う存じます何か御用事でございますか』庄『オ、主人か外ではないが兼て聞及んで居るが、當奈良の町はいたつて幽邃閑雅の土地と言つたが、今之れへ入つて來て見れば町の中や家々の內何となく騷がしいようだが何か出來事が有るのか』主『ヘエお仰の通りでございまます、夫は此處に至つて悲慘な話がございますので』庄『フムウ左樣か、併し拙者も其方の處へ投宿致して見れば袖すり合はすも多少の緣、爪突く石も緣の端とやら申すに依り、話してよい事なら話を致せ事情に依つたら何とか相談致そうではないか』主『御心切樣に難有う存じます、夫れではお話致しますがと前回の有りし物語りを致しました、梁川庄八之れを承はり　庄『成程夫は可愛想な話、併し神は非禮を受けずと申す、然るに高の知れたる鹿一疋を殺したればとて、左樣な十五未滿の子供を石子詰の仕置きに行ふと云ふは言語同斷、興福寺の坊主共が勅願所を笠に着て、却つて神慮に背き勝手我儘なる掟を設けると覺へたり、斯樣な事を承はりし以上は聞捨にはならん、之れより興福寺へ參つた處で承知は致すまい明日に成るを待受け刑場へ參り乾度兵吉と云ふ子供は拙者が助け取らすら今夜は此所にて呑み明すにより其方も之れへ參つて相手を致せ』是れを聞て居りました主人善兵衛罷上つて喜んで善『どうも旦那樣何共御禮の申し樣がございませぬ、エ、承知致しました然う成りますれば兩親始め町中の者はいくら喜ぶか知れません、夫れではどうか何分共宜敷お願致します、コレ誰か居ないかお光や』女『ハイ旦那何か御用ですか』善『お酒とお肴をドン〳〵持つて來な旦那樣にお上げ申すのだから』と主人善兵衛大恐悅で是から梁川の相手を始めました　主『然し旦那樣世の中には私共と同業でございますが、あの鍋屋淸兵衛なんぞと云奴は鬼を見たような奴であんな者が旅籠や仲間に有るかと思ふと情けなうございます』梁『如何にも最もだ其鍋屋とか申す奴、嘸いな奴、興福寺の坊主共は惡非道此上もない奴だ』と頻りに善兵衛を相手に梁川庄八夜の明けるを待受けて居りまする程無く東雲告げる明烏、カア〳〵〳〵鳥三聲と共に夜は全く明渡りました、其內にもう町の中は各々刑場をさして行くも有り、又は宅に引籠りて佛壇に燈明を上げ念佛を唱へる者も有る、此方は梁川庄八時刻の來るを待受け主人善兵衛を先に立たせて刑場を差して參りまするさ、もう黑山の如き見物人、今しも兵吉は穴の中へ投込まれんとする有樣でございます

日本生命保險株式會社

一資本金　三十萬圓
一責任準備金　一千三百八十五萬五千九十三圓三十九錢九厘（純保險料式）
一其他準備金　二百六十九萬四千八百九十九圓二十錢八厘
一保險契約高　九千五百九十萬九千四百十三圓
一契約件數　十九萬八千四十七件
一開業以來死亡支拂保險金　七百五十八萬六千十八圓
一開業以來滿期支拂保險金　三十三萬三千八百七十四圓

明治四十四年度決算報告

貸借對照表

資產	金額
現金	[illegible]
銀行預金	[illegible]
振替貯金	[illegible]
貸付金	[illegible]
有價證券	[illegible]
諸證券買入	[illegible]
不動產	[illegible]
什器	[illegible]
未收保險料	[illegible]
支店出張所	[illegible]
代理店貸	[illegible]
假拂金	[illegible]
合計	[illegible]

負債	金額
株金	[illegible]
法定準備金	[illegible]
責任準備金	[illegible]
準備金	[illegible]
支拂備金	[illegible]
役員恩給金	[illegible]
別段預金	[illegible]
役員身元保證金	[illegible]
證券預り金	[illegible]
保險契約者配當預り金	[illegible]
假受金	[illegible]
合計	[illegible]
利益金	[illegible]

損益計算書

收入	金額
前年度繰越金	[illegible]
保險料	[illegible]
利息	[illegible]
諸財產賣却益	[illegible]
手數料	[illegible]
合計	[illegible]

支出	金額
死亡支拂保險金	[illegible]
滿期支拂保險金	[illegible]
解約返戻金	[illegible]
諸營業費	[illegible]
財產評價損	[illegible]
前年度未收保險料	[illegible]
前年度ノ未收繰越	[illegible]
責任準備金	[illegible]
支拂準備金	[illegible]
合計	[illegible]
差引利益金	[illegible]

利益金處分
株主配當金（年一割五分）
別段準備金へ繰込
次年度へ繰越

右之通候也
明治四十五年二月十八日
大阪市東區今橋四丁目七番地
日本生命保險株式會社
取締役社長　片岡直溫
取締役　土居通夫
取締役　弘世助太郎

勸農旬報

併合以來鳳氣雍々の間に茲に第二回の新春を迎へ吾農界の前途は倍々日新の曙光を展べ來候處各位の御經營有之候果樹、桑、山林用苗木類移植の好時節も切迫致候際本會社にては當局獎勵の方針を體し試驗したる結果成績優良なりと決定し左記種類の苗木を自營苗圃にて養成し廣く高需に應じ可申候間多少に拘らず御用命あらん事を希望致候

一、果樹苗木　各種一、二年生の別あり
○苹果苗木　紅魁（早）、祝（中）、紅玉（晩）、柳玉（晩）、倭錦（晩）、國光（晩）
○梨苗木　長十郎（早）、明月（中）、太白（中）、晩三吉（晩）、今村秋（晩）、バートレツト（早）、ロスチー（中）
○桃苗木　アムスデンジユン、アレキサンダー、天津水蜜桃、上海水蜜桃、金桃
○葡萄苗木　歐洲種ブラックハンボルク、米國種レデーワシントン
其他栗柹等各種あり
○桑苗木　魯桑接木苗、同實生苗、市平苗、赤木接木苗、十文字苗
○山林用其他苗木　櫟二、三年生苗、アカシヤ苗、落葉松二、三年生、赤松二、三年生苗、ポプラー苗、梧桐

此外各種の苗木養成罷在候間御出張の上現品を御一覽被下度候尚農業用具類純良蠶種又昔り石丸青熟種及肥料類各種販賣可仕候間御用命被下度候
營業目錄及定價表は御一報次第進呈可仕候

京城旭町二丁目（電話三二六八番）
朝鮮勸農株式會社
振替貯金京城三七八番

東京電報

▲**陸軍將官異動** 第二師團長松永中將薨去に就き目下後任者の詮衡中なるが多分步兵第十八旅團長石橋少將中將に昇任の上第二師團長に親補せられ同時に陸軍次官岡少將も中將に昇り步兵第四十九聯隊長太田大佐少將に昇任し第十八旅團長に補せられ參謀本部附現漢口派遣隊司令官尾野步兵大佐現職の儘少將に昇任すべしと

▲**哈爾賓の市街戰** 十九日哈爾賓支那街富家甸(?)に於て約百名の官兵と革命派と衝突し双方共死傷者を出せり

▲**駐日民國公使**候補 袁世凱は目下南京に在る宋教仁を日本駐剳公使に任命すべしとの報ありたり

▲**廣蘇借欵成立** 大倉組と廣蘇鐵道公司との間に三百萬圓の借欵成立し大倉は壹百萬圓を出し殘餘は橫濱正金銀行臺灣銀行第一銀行安田銀行の四銀行に於て一口五十萬圓宛を負擔し近く現金を交付すべし

▲**上院と豫算案** 貴族院に於ける豫算案の大勢は衆議院より送附せし如く可決すべく幸俱樂部及研究會の態度決定せり

▲**樞府と選擧法**改正 樞密院は廿一日午前より午後に亘りて選擧法改正案を審議し一個條のみ修正し可決せり

▲**墺國外相言明** エーレンタール伯の後任たる墺國新外務大臣ベルヒトルド伯はボックムに於て言明して曰く確定したる政策に適應すべく露墺兩國の接近策を斷行し且つ前外相の三國同盟政策を維持すべしと

北京特電

▲**副大統領再撰** 黎元洪は副大統領を辭せるも廿日參議院に於て再撰されたり

▲**藍天蔚の引上** 趙總督共和に贊成し且つ袁世凱より長文の電命に接したる藍天蔚は愈々軍隊を撤し芝罘に引上ぐる事に決心せりと

▲**袁迎接使着期** 南京より派遣したる袁大總統出迎使唐紹怡、伍廷芳、祭元培、宋教仁、汪兆銘、王寵廷等の一行は來る廿五日北京到着の筈なり

▲**迎接使の接待** 袁世凱は南京より迎接使の接待委員として趙乘釣、胡維德等を什命し目下諸般の準備中なり

雜報

●**郵便貯金全部流用** 朝鮮に於ける郵便貯金の大藏省預金部に回付されし內より今回朝鮮銀行が三百萬圓を借り入れ來りたる事は既報の如し而して該貯金の借入は昨年に於て百萬圓と今回の三百萬圓とにて合計四百萬圓にして今後は朝鮮に於ける郵便貯金の預入高全部は鮮銀が大藏省より借入れの名義を以て每年全部を朝鮮の事業資金に使用する事に決定せりと云ふ

●**基督敎の管理者と其勢力** 朝鮮に於ける重なる各耶蘇敎會監理者の氏名を擧れば米國北長老派(在京城アンダーウード)同南長老派(在平壤ノーブル)同南メソヂスト派(在京城ジャーダイン)同北メソヂスト派(在京城ハリス博士)英國敎會(在京城トロック)獨逸敎會(在京城ザウエル)佛國敎會(在京城ミューテル)露國敎會(在京城ボール)救世軍(在京城ホッカード大佐)皇城靑年會(シレット)耶蘇敎書會(在京城ボンウイック)等にして此中アンダーウードの支配せる米國北長老派の布敎區域即ち勢力範圍は平安北道の中部を除きたる部分平安南道黃海道の南大部京畿道の中部一圓及び慶尙北道にして各敎派中最も勢力ありノーブルの管理せる米國南長老派は全羅南北兩道を布敎區域としジャーダインの支配せる米國南メソヂスト派は江原道の北大半部を有しハリス博士の管理せる同北メソヂスト派は平安南北道の大半部黃海道及江原道の南部忠淸南道を布敎區域とし其他は未だ微々として振はず

●**循環航路問題** 日本海循環航路問題に付金澤よりの代表者入京運動しつゝあること既報せしが該代表者が總督府側各官憲を歷訪した結果其の意見を綜合するに內地の關係地方に於て該航路に對し相當の補助金を支出し遞信省に於ても多少の保護を加ふる場合には朝鮮總督府も北鮮開發の必要上勿論相當の補助金を支出すべしと云ふに在りたるを以て今後は具體的の成案を作り四十六年度豫算編成に先ち夫々各方面に交涉するの手段に出づべしと云ふ因に李家石川縣知事は來る五月頃該問題を携へ來鮮すべしと云ふ

●**煙草耕作地調査** 慶尙北道金海郡黃海道載寧郡京畿道揚州廣州の二郡江原道金化、金城の兩郡忠淸北道の忠州郡等各地は從來米國葉の產地となすへく試作中なりしが今回岡田度支部技師出張調査の結果今後耕作地とするには金化、金城、忠州等が最も良好なるが如しと云ふ

●**大資本家と鑛業** 近來內地の大資本家は半島の鑛業に少からざる注意を拂ふに至りしは半島鑛業の前途頗る喜ぶべき現象なるが今其の狀況を洩れ聞くに古河組は平安北道龜城郡方面に於て十五鑛區一千二百四十五萬坪朔寧に於て五鑛區四百餘萬坪村井吉兵衛氏は同方面にて六鑛區五百二十五萬餘坪安川敬一郎氏は平北昌城郡は十二鑛區と其他にて千二百餘萬坪淺野總一郎氏は平北龜城郡に三鑛區二百五十餘萬坪の金銀鑛を何れも出願中なるが尙又前田組は江原道にて既に百七十餘萬坪の金銀鑛の許可を得て現に採掘中なり三菱は黃海道黃州郡にて百八十餘萬坪の鐵鑛を買收し外に九十萬餘坪の鐵鑛を出願しあり三井は平安南道修川郡にて寺尾政篤細居秀三等が出願せし鐵鑛所十一鑛區五百七十萬坪に對し共同經營の意志を表明し大倉組も五萬餘坪の鐵鑛を出願中なりと

●**兩組合規則の發布** 漁業組合規則(全文十四ヶ條)及び水產組合規則(全文二十九ヶ條)は廿三日の官報を以て發布され漁業令も同時に四月一日より實施すといふ

●**淸國視察團行程** 京城實業家淸國視察團組織計畫に就ては別項記載の如く二十二日夜京城日本人商業會議所に於て開會さるゝ役員會に於て略ぼ決定の筈なるが聞くところに依れば視察期日は三週間以內にて往路は奉天、長春、哈爾賓、撫順、北京、天津を歸路は營口、大石橋、大連、旅順を視察すべく此の間の行程約三千哩なりといふ

●**戾稅撤廢運動經過** 京龍仁の釀造家を主とせる淸酒釀造家は戾稅撤廢につき爾來着々運動中にて昨今は之れが撤廢の趣意書を平壤の釀造家に廻付中にて夫れより釜山に廻送する由なるが何れ一兩日の中に委員會を開き其の上にて更に運動の步を進むべしといふ

懸賞論文募集
半島鑛業振興策

募集規定

一懸賞金壹百圓

右は當選論文發表と同時に當該論文寄稿者へ贈呈すべし。

一文章は論文体言文一致体何れにても宜敷成べく平易簡明なるを可とす。

一當選論文の決定は本社爲聘鑛業關係諸大家の審判に因るものとす、而して當選論文の數は一篇とす。

一應募締切期限は來る三月一日とす

一當選論文の發表は來る三月十日の本紙上に於て爲すものとす。

一當選論文の發表は寄稿者の御希望に因り本名匿名何れになすも妨げなし但し匿名を要せらるゝ方と雖本社に對しては住所氏名を明かに通じ置かるゝ事

一募入論文は當選外のものと雖應募者へ返還せざる事。

附記 本懸賞は實際的鑛業振興策を募集するものなれば文章の巧拙は敢て問はざるものとす

京城新報社

●**漁業令實施期** 曩に制令を以て發布されたる朝鮮漁業令は愈々四月一日より實施の旨明二十三總督府令を以て發布さるべし

●**漁業稅令施行規則** 漁業稅令施行規則は愈々廿三日府令を以つて發布し四月一日より實施すと云ふ

●**水產組合規則內容** 總督府令を以て明廿三日公布さるへき水產組合規則の內容を聞くに組合は營利事業をなすべからずして漁業令第三十五條に規定する水產組合は本令の規定により定款を變更し本令施行の日より三日以內に總督に許可を申請すべしと

●**財務部長會議日程** 各道財務部長は來る三月七日より五日間の豫定にて總督府に參集し會議を開く筈なるが會議室は例により司法部樓上とし第一日は寺內總督の訓示あるべく諮問案其他各種の問題は目下整理中なりと

●**故松永將軍に御下賜** 朝鮮駐劄第二師團長陸軍中將男爵松永正敏氏薨去の趣き天聽に達し二十二日祭粢料として金一千五百圓下賜されたる旨總督府に公報ありたり

●**屠獸規則改正施行** 從來屠場設置に關しては隆熙三年八月法律第二十四號により地方長官の許可を受くべき規定なりしを二十二日の朝鮮總督府令第十一號を以て內部大臣を警務總長に地方長官を警務部長に改め發布の日より施行すと發布されたり

●**鮮海鯖漁競爭** 朝鮮海に於ける鯖漁業は年々盛況を呈し昨四十四年の漁期に於ては其網數實に八十有餘統從業漁夫四千餘名に達せり然るに其の漁場は巨濟島東南沿岸なるを以て之等網數に對し漁場甚だ狹隘にして一度漁群を發見せんか忽ち八方より集中し猛烈なる競爭を惹起し漁場は全く修羅場の如き觀を呈し血を見ることさへ珍しからざる狀態なりと云ふ故に優秀なる漁船を以て之に從事するも其の努力に於て他に劣るに於ては空しく魚群を傍觀して不漁の歎あるを免れざるを以て彼等は會々天候の時化に際しては孰れも凶器を製りて之に備ふるが如き奇觀を演じ居る由にて斯くては將來漁場の移動若くは網數の減少を見るに至らざれば到底斯の爭鬪を防止する事困難なるべし之れに付ては慶尙南道廳に於ても疾くに見る處あり目下頻りに研究中なりといふ

●**內務部の秘密會** 釜山民長候補者問題に關し二十二日午後零時三十分より內務部長官室に於て宇佐美長官小原局長澤田課長等集合午後二時迄秘密會を開きたり

●**商議役員會の開會** 京城日本人商業會議所役員會は二十二日午後七時より同所樓上に於て開會し京城實業家功勞を調査の件及び淸國視察團組織に關する件等に就き協議する由

●**敎育會俱樂部開催** 朝鮮敎育會俱樂部は二十一日午後七時三十分より京城日本人商業會議所樓上に於て開催さる最初關屋會長の開會の辭あり次て本田水原模範場長の『農家の經濟』と題する講演あり終つて淨瑠璃、落語等の餘興に移り散會せしは十時三十分なりし

●**東拓の重役會議** 東洋拓殖會社にては二十二日午前十時より宇佐川總裁以下各理事出席重役會議を開きたり

●**高知縣の移住漁村** 高知縣にては慶尙全羅兩道沿岸に漁民移住の必要を認め臨時縣會の決議を經て二ヶ年度に一萬二千二百六十圓を支出し慶南龍南郡に漁戶三千戶移住の計畫をなし尙本年度に二十戶來年度に十戶の移住經營に着手せり

●**鮮人の手形用紙** 朝鮮人の使用せる手形用紙は舊韓國政府時代度支部令を以て發布制定せられ代價は一枚二錢にて內に印紙代をも含ませられ之れが印刷は印刷局に於て爲され賣捌は農工銀行にのみ限られ居りしが其の實鮮人は日本の手形の代價廉きを以て鮮人間の取引は別として日本人に對しては日本の手形を使用するもの多く從つて其の間不便の點少なからざるのみならず第一價格の點に於て不廉なるに加へて印刷局のみに於て印刷するは不當の嫌あるを以て京城日本人商業會議所にては一昨年度支部に對し第一價格を引下ぐる事印刷及び賣捌所の制限を爲さず民間に於て自由に印刷し且つ賣捌かしむること等に就て建議したるが其の後度支部に於ても爰に顧みるところありしか近々の內より部令を改正し右の如く實行を爲すべしとのことなるが更に日鮮併合後は所謂從來に於ける朝鮮の手形を廢し日本の手形を使用せしむる方得策なるべしとのことなり

●**澤代議士の官衙訪問** 代議士澤來太郎氏は二十二日午前十一時總督府に小松長官を訪ひ一般政務の說明を受け午後より更に菊地、宇佐美の兩長官並に關屋局長等を訪ひ政務の說明を受たり

●**市原鮮銀總裁の消息** 朝鮮銀行總會に列席の爲め東上中なる市原總裁に付目下四谷の自邸に滯在中なるが同總會は去る二十日を以て原案の通り決定したるも尙ほ金利引上及第三回株金拂込に付政府と事務打合せの關係上來月十五日頃迄で同地に滯在すべしと云ふ

●**赤十字會議と秋山參事官** 本年五月米國に開催の萬國赤十字會議委員を命せられたる總督府參事官秋山雅之介氏は本月下旬一時歸任再び東上來る三月二十六日橫濱出帆米國に向ふ豫定なり

●**和田土地調査局課長の上京** 土地調査局の和田庶務課長は大藏省へ交涉要件を帶び約一ヶ月の豫定を以て二十一日朝東上せり

●**不破事務官と豐田多賀雄氏** 度支部事務官豐田多賀雄氏は今回辭職し朝鮮銀行に入る事となりたるが庶務課の不破事務官は財務課勤務を命ぜらる

●**寺內家の佛事** 二十二日午前十一時より寺內總督夫人、兒玉伯、同夫人は龍山西本願寺に於て故寺內專一氏夫人の追悼法會を行ひたり

●**民團小學校の卒業式** 民團所屬各小學校にては來月十日頃迄進級の認定を了り二十一日頃より二十五日迄に全部卒業式擧行の筈にて目下認定の調査中なりと云ふ

●**白耳義領事の招宴** 當地駐在の白耳義領事は來る廿七日午後八時より寺內總督を始め文武官數十名を領事館に招待盛宴を張る由

●**土地調査試驗終了** 昨年來光化門前土地調査局事務員養成所に於て講習中なりし調査事務員は既に二十一日を以て規定の試驗を了したるに依り二三日中之れが成績の發表を見るべしと云ふ

●半島鑛業振興上の意見(五十)

▲**鑛業家上遠野栗氏** 曰く朝鮮鑛業發展策としては什うしても朝鮮全土に涉つて地質調査を試みることである彼の鑛床調査の如き忌憚なく言へば無きに優ると云ふ程度に於て必要なるものである即ち之れを獨逸亞米利加等の鑛業發展の跡に徵するも鑛業の發展は常に地質調査完成の後に於て始めて其の充分なるを認むるので若し地質調査完成せざれば鑛脈の存在することありとしても其一時的のものか或は永續的のものかも確保する能はず之れが經營者に對しても不安を抱かしむるを免れぬ朝鮮に於ても巨智部博士時代には地質調査に着手するやの風說あり大に我々鑛業經營者の意を强うするものがあつたが經費の點と常に爭論の絕わざる日本內地の地質學者と鑛山學者との爭ひの餘波を受け其の計畫の中止を見るに至つたは實に殘念の次第である地質調査にして行はれんか座ながらにして或地方には或種の鑛脈の存在することを知り得ると共に又た一方には所謂山師連が某地方に於て或種の鑛山を發見したりと脇構するあるも其の存在を地質上より否定するを得るのであるが其企てなく況んや彼の鑛床調査が決して之れを朝鮮全土に試みるに非ず出願に依り比較的有望なりと思はるゝ地方の鑛床を調査するもので毫も之れに信を置くを得ざるものなるに於ては朝鮮鑛業は決して未だ大資本を投じ器械を据ゑつけて之れを稼行する程確實な性質のものでない今日朝鮮に鑛山を經營するは恰度其の鑛山を中心として附近鑛脈の有無を長時に涉り調査するの標準たり得るに過ぎぬ之れを要するに朝鮮鑛業は地質調査を經ざる今日にては其の鑛床は甚だ不確實なもので爲めに自分を今日迄各種鑛山經營上に於て辛き經驗を甞め又た彼の雲山金鑛の如き今日既に鑛脈缺乏し他人の鑛區に採掘を試むるが如き有樣なるに顧みても地質調査の必要大なるを知り得るであらう又た今日迄の實驗に依れば朝鮮鑛山事業中最も有望なるは勿論金であつて金山事業の其の性質より見るも必ずしも大資本を以て大規模に之れを經營するの必要なく現に最も大規模な雲山稷山の金鑛にてさへ其の資本額は漸く二三百萬圓內外に限定さるゝに見ても此の理を知り得べく金は製煉容易なる爲め銅等と異つて其の鑛山裝置には大資本の必要がないし其の到る處に金砂の存在あるを以てしても最も朝鮮鑛業として有望で總督府の內地大資本家誘致は多少無意味に屬する最後に現行鑛業法に關して卑見を披瀝すれば總督府鑛業法は鑛業の發達よりも寧ろ政府の收入を增加せんことを目的として制定せられたるものゝ如くで其の制定が朝鮮各種鑛脈が無盡藏なりと誤想されたる時代に成りたりとは言ひ條登錄料鑛業稅の高率なる世界に其の比を見ず又た採掘のみを許して試掘を許可せず鑛業は空權屋を陶汰する手段として鑛業滯納者に權利の取消を行ひ國稅滯納處分法に依り處分を勵行する等一も鑛業の發展を阻害せざるものがない其の結果は續々廢業者を出すも政府は以て空權陶汰が良好成績を示したりと思惟して其の廢業鑛區中に却つて良鑛區の存在するを知らず空權屋取締法としては先願權所有者にして一ヶ年以內に之れが採掘に着手せざれば其の權利を取消すとの規定あるも之れを準用せずに一圖に稅金の一事を以て鑛業者を苦るは決して策の得たるものではない又た鑛區發見者に對しては亞米利加西部地方の如く之れが發見權を認めて優遇の途を講ずると共に其の一ヶ年以內に着手せざる者に對しては絕對に其の權利取消を行ふに於ては有望鑛區の發見益々加はると共に空權屋陶汰不良鑛區の採掘中止等も遺憾なく行はれ朝鮮鑛業發展を誘致すること大なるであらう

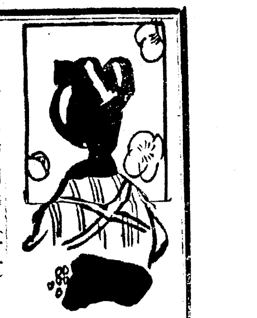
●**釜山府尹の歸任** 釜山民長候補者問題に付二十一日朝入京したる釜山府尹若松兎三郎氏は同夜歸任したり

▲**京城手形交換高**▼

二月	金高	枚數
廿二日	一八五、四二六、七五〇	四六八

▲茶袋▼

二十二日に開かれる商工調査會の總會に附せらるゝ議題は何れも皆時宜に適切のものばかりである▲就中、京元鐵道開通後經濟上京城の被る利害調査の件の如きは、今から着手することが必要である▲ソコで吾輩は此際商業會議所と商工調査會とが聯合して、京元鐵道線路踏査團を組織せんことを希望する▲鮮米移入稅撤廢の請願が愈々政友會に屬せる代議士岡崎邦輔氏等の紹介で議會に提出された▲昨年の議會では、鮮米移入稅廢止の建議に對し、黨議を以て即決否決をなすべき態度を執りし政友會が、今年は黨內の有力者岡崎氏をして請願の紹介者たらしめたのは何よりも結構な事だ▲澤代議士は朝鮮總督政治に對し、大に議論があると云つてるそうだが、正可空元氣でもあるまい。



宗匠訪問錄（十一）

ヴイオリン 中島樂洋君

明治町通から松葉に這入る路次にヴイオリン教授の看板が出てゐる格子段を上ると勸商場の二階になつてゐる

私が京城に來ましたのは四十二年の二月で爾來引續いて數へて居ります音樂を學ぶのも餘程季節に關係があると見えまして春から夏には多く人も來ますが秋の末から冬の間は極めて少ないのです無爲寂寥の關係上暖を取る設備が充分でないのに困ることゝ思ひます昨年迄は十五人位ですが三月に入りますと増加して四十人程になります朝鮮人も四人程來て居りました音樂に對する趣味はある樣ですが餘り深く研究する者の處もありません私の處に來る方が大抵洋樂を申しますか自分にも面白味が出て來ると人が聽いてもフマリ噴飯をやらない程になれば宜いと云ふことが無いので私も可成速成を旨として居ります先づ初學者ですと最初の二ケ月は音の出し方絃の押へ方で暮し三ケ月目から簡單な曲を教へ込むので普通六ケ月經てばマア什麽やら少し位復雜な曲も彈ける如になります前漢城病院長の令孃安藤陸子さんは丁度一年程になりますが非常に熱心に稽古せられたので今では可なりに彈けるやうになりました其他御婦人中には奥樣が大分を占めて居ますが家庭と音樂との關係に就て一言しますと音樂は人心を緩和するもので大抵の人は心の背々しても是れに耳を傾けてゐる中に自然に心が平靜になつて來る樣です此の點に於て一家の主婦たる者は夫が一日の勞務に身心共に疲勞困憊して歸宅した時サア歸つては見たもの、今にも雨になりさうな細君の顏を眺めながら不味い料理を頂戴したところが大した慰藉にもならない若し悠麽場合に何はなくとも晩酌の膳に向つた時三絃なりヴァイオリンなりニコ〳〵顏で傍らに侍べりて下手ながらも何か一曲なりとして云ふ風でしたら善良なる結果を來たしはしまいかと思はれます必ずしも斯ういふことは中流以上の家庭とは限りません中流以下でも雨でも降つて陰氣な晩にでも夜など一家が團欒して絃の音に恍惚として例へ暫時の間でも種々の物思ひや左樣な場合の寂寥を忘れることの出來るのは精神上にも有益なことゝ思はれます此の愉快なる感じを與へると云ふことは家庭の圓滿を計る上に大變必要なことゝ思はれます何だか是れでは餘り我田引水過ぎる樣で御座いますね

●女房亭主を置去

▽京城まで女房を尋ねて

神奈川縣橫濱市尾上町六丁目九十番地椎野柳之助妻しずと云ふは女髪結を業とし夫婦共稼ぎで暮し居たるが本年一月十八日午前九時頃夫の留守に鄕里に歸るとの遺書を殘して現金二百三十圓及びミシン器械一臺外亭主の目星しき衣服數點を攜へ姿を晦ましたれば置き去り喰つた亭主は大事々々の稼ぎ者の女房に棄てられて什麽して明日から御飯を喰べて行かうと云つたかドーかは知らぬが血眼になつて心當りを探ね廻れどサッパリ行衞が分らぬので一人情死も仕兼ねまじき處にしずは京城長谷川町一丁目鐵冷溫泉に居るとのことを人より聞き込みヤレ嬉しやと遙々京城まで來て見れば鐵冷溫泉にては本月十八日來ることは來たけれど宿泊らずに同夜十一時の汽行で歸國したとの挨拶不審の點あれば其筋に出頭搜索願ひを差し出したるが何か是れには淺からぬ仔細のあることゝなるべし

●姦夫に添ひ度い

▽から離籍して下さい

京城蓮花坊蓮洞四十五統六戶消防手金鐘燦の妻金寶女（三五）は本夫が職務の爲め隔日外泊するを奇貨とし近隣に住む某辯護士事務員崔鍋（二六）と姦通し居たること昨年秋發覺し姦通罪にて入獄の身と成りしが本月に至り釋て宿せし姦夫の胤の臨月腹を抱へて出獄し二十二日正午頃其筋に出頭し私が入獄と決定せし際本夫は私に向ひ汝前は監獄で死んで再び歸るに及ばぬと云ひしにより丁度幸ひ可愛い崔さん所へ行きますから離籍して下さいと願出でしも本夫と同意運署屆出でざれば許可せられずと懇々說諭の上引下らせられたり然りとは虫の好いことかな

●中華民國領事館移轉

▽馬總領事の襟懷

馬中華民國總領事は豫て其領事館が京城商業中心地たるべき箇所尨大の地區に占據することの不可なるを認め相當の換地だにあらば移轉するも妨げなしとの意を當局者に洩し居たる由にて當局者は大に其好意を諒とし換地詮議中の處此程に至り**元軍司令官邸**たりし大觀邸を提供したるに地却つて市街の熱鬧を避けたるを喜び本**國政府の秩序回復次第**其同意を得て移轉實行する事に決したりと馬總領事の雅懷は京城市民の敬仰に値すと云ふべし

●女教師に尾行す

▽コンの好い醉漢

京城北部仁坪坊禁苑洞米穀商金錫允次男金漢奉（二二）は二月廿日夕舊正月の酒に泥醉散步の途中蘇島聖義女學校鮮人女教師某を東大門より見へ隱れに尾行し往十里に至りし頃女教師某は此奴辻散な者と薄々覺りて同所の某學校教師方に逃げ込みたるに金は尙も追跡したれば愈々驚き其の旨巡查派出所に密告せしより巡查補取調べたるに別に惡意なく女學生と思ひしため一面識なきも交際を求めん爲と判明したれば一應銅峴分署に引致嚴重將來を訓戒し廿一日父金錫允に引渡したり

●有夫藝妓と風紀

▽屁理窟は野暮です

同業京城日報子は近來盛んに藝妓の素破拔を初め出されたが今迄は憎まれものは此方計りであつたが件が出來たで甚だ心强い、夫は扨置いて先づ其素破拔に依ると當地の藝妓には亭主持ちがナカ〳〵有る樣だ、仰云る所に依ると此位の事は花柳界に出入するものは皆知つてるとかだが知つてねへ旅の客や何かもあるから甚だ面白からん影響が風紀の上にありはせぬか、何に、藝妓だから亭主があつても差閊ねなからうと屁理窟は言はぬもの、世の中は活きて居るのですからね、其處でと風紀に惡影響は有りませんかた考へ下さる必要がある（一記者）

●本町に狂犬出沒

▽犬は活きて居る

旭町二丁目鈴木方岡根音次郎（二六）は二十一日夜十時頃本町一丁目京城郵便局前に於て身長二尺餘のセッター雜種濃褐色の犬に數回飛び付かれ遂に外套衣服を通して左腕に傷を受けたるが狂犬の疑あれば最寄り石川醫院に驅け込み應急手當を受け南部署に屆け出でたるが記者が二十二日正午同署を訪ねたる際には未だ係官の手に書類が到着し居らざりし故果して狂犬なりしや否や不明なるも危險千萬のことゝ云ふべし

●髪結れしづの雲隱れ

▽若遊三の跡を慕うて

自分は若遊三をつまみ作ら亭主とは名のみの男妾は若遊三一行の駒彌につままれて居たを氣取つて犬も食はぬと云ふ夫婦喧嘩をやらかしたのを幸ひに釜山に乘り込んだ若遊三の跡を遂つて飛出した髪結のれしづ、所で早速困つちまつたのが誰あらう喧嘩の相手の男妾殿、女護島へ追ひ遣られた肺病やみの如に虫の呼吸で兵古垂れて居るが何もれしづ可愛いさにはあらで實は腹が空つて來るからなりとは飛んだ色消し

●科料五七三十五圓　仁川宮町一丁目住熊本助生吉田常彥（三八）本町四丁目住廣島縣生大原甚之助（三〇）新町二丁目山口縣生大石友槌（三八）同鹿兒島縣生橋口甚七（四七）濱町二丁目廣島縣生大和宇吉（四七）本町四丁目山口縣生石田菊藏の六名は二十一日午前三時三十分頃前記石田方にて骨牌を弄し盛に賭博中折から密偵の碇、高木の兩巡查が現場に蹈込み一同珠數繋きとなり本署に引致取調の結果各科料七圓宛に處せらる

●小富美のバチ落し　二十日夜十一時二十分頃旭町二丁目開進亭抱藝妓小富美事久野よし（二一）は同亭より本町三丁目の好い所へ行く途中で稼業道具の象牙製三味線撥を取落したりとて南部署に屆出でたるが大概何の邊に落したか心當りが有り相なものだにと云へば『夫れが分明つて居れば拾ひます』と減らず口を叩いて引退る

●放尿して　朝鮮畜產會社皮革部出張所雇人新居勝一（二九）は廿一日夕水票橋琵琶洞にて放尿し科料三十錢に處せらる▲京城西部五宿洞三十七統十戶李光宇（四三）は廿二日朝水票橋管內帽谷通りにて放尿咎五ツ▲廿二日朝朝鮮總督府土地調查局養生所學生尹斗赫（二二）は友人李載永方に同居せるものなるが溫突窓口より街路に尿を放棄したる爲め拘留二日に處せらる

●朝鮮の雜物雇人　舊龍山元町一丁目石炭商八田出張店原田ハツ方傭人香川縣消歌郡坂出村字芝居番地不詳平民策羅長男鈴井芳彥（一九）は昨年四月中より同店に雇はれ居る內掛賣代金凡八十餘圓を橫領費消したる事此程發覺橫領罪として告訴せられたるにより龍山署にて目下留置取調中なり

●憐れなる一家へ　仁川本町四丁目茶舖主人田中熊輔氏は過般慘憺なる一家族として新聞に掲載せられたる寺町竹本虎吉に對し同情の念に堪へずとて市內有志者秋田とし子外七十二名を勸誘し救濟義金三十二圓十五錢外衣類二枚を募り二十一日仁川警察署の手を經て同人へ惠贈したりと

●景氣の好いこと　黃金町十二番戶車製造業坂田勝次（三六）は二十一日午前一時頃黃金町より羽衣町を經て旭町二丁目に至る途中現金百二十二圓六十錢在中の折鞄を遺失屆出でたり

●病婆の身投　仁川牛角洞住金大有の母趙氏（六五）は肺病を苦にし二十一日午前十時頃井戶に身を投げて自殺したり

花柳放言　誘ふ水（二）

▲日本橋の花村を知つて中華の鷄腕を知らす、駒形の鰌汁を乙がる癖に田甫の大金はすき燒屋とのみ心得、銀座の天金や中濟の噂さは出來ても花屋敷の常盤は新聞でのみ承知して居るなど、今の世の食通と言ふ奴た丶かたは這樣手合なり▲不味ものなら田舍の粟飯、酒幕の燒肉朝鮮酒を一息にしてやる事など京城の人は上下を通じて御承知だがうまいものと來たらてんで食つて居ないと見へる、それが證據にや京城にうまい物屋といふのが一軒もない▲松の料理がいゝとか初音がうまいとか松金の天麩羅とか江戶川の鰻とか言ふがこれとて不味ものを食ひつけてる舌から出た話で、かへつてうまい物を食ひつけない證據になる▲三味が這入る樣になると料理の味が落ちるとはよく言ふ奴だが花月や搦翠みたいに自宅で藝者を養成して居る樣な事では尙更料理らしい料理の出來る筈がない▲話は一日時に出來ないが要は女と言ふ者と喰物と言ふ事とこの二ツをもうすこし離して研究するのが京城花柳界の急務だと鳥渡しても考ゐる果してどうだらう（此の字）

藝妓の性相と運命（六）

天象子觀識

目下京城ホテル別館（搦翠樓前）に於て一般運命鑑定中なる天象子に忙中の閑を割いて標題の如な事を囑して快諾を得た、何しろ忙がしい中での鑑定執筆だから每日と云ふ譯には行くまいが兎に角讀物として當人の心得として面白い事と思ふ（一記者）

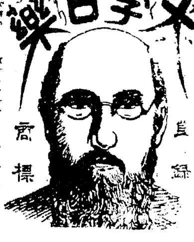
新江戶屋　萬龍

れ前樣の寫眞はヴェールとやら云ふものを被ぎ居らるゝより觀相不充分の樣に思はれ候れ前樣は一口に申せば心性質と申す質なれば**職業**として**美術、音樂、藝妓、俳優**なぞ最も相應しく其內何にても自分の好むもの——何事に依らず優しきものを撰びて勉强致され候はゞ上達疑ひ無く候、但し己れの骨に無きものは何程れ骨折被成候とも無駄な事は申すまでも無きこと、御承知被成べく候、御前樣も最早花の盛りは過ぎし二十六歲、漸う〳〵に褪せ行く花の色香に近きし日の盛りを夢みて立つ鳥の跡を濁さぬ如く末始終をれ心掛け被成べく夫れには遊藝の師匠とか何とか優しき業にて浮世を送らるゝ樣御勸め申上候、此は御前樣が左樣念に掛けられずとも自然左樣した境遇に落着く事とも相成べく一**旗揚げて大金儲**をなどとの謀叛は必ず〳〵遊ばすなよ、然らずば**苦勞の種を蒔く斗り**に候チト申悼くけれども前樣は金には餘り緣無い方にて思ふ事とて調子好くは運ばぬ方にて配偶も一度にては納まらぬか又は緣薄き方にて有るにもせよ緣薄きか又は役に立たぬ樣の事となるべきか、眉と眼は一見華やかに美しき如なれど一種の寂しき雲懸りて漫に前途の運命を暗示致し居り候本年**十月九日**後より**十一月中には一時吉事**、嬉しき事あり、二十九歲頃一先づ一身の落着相見ゆ申すべく候、戀しき男の無情素振や浮氣沙汰なぞ女として難しも我慢なり難く腹立たしきことに相違なく候はんもれ**前樣**は**別して其の嫉妬心の强う烈しき**樣思はれ候へば返す〳〵も此の儀深くれ慎み成さるべく尤も狐色の燒加減、由良之助にツンと拗ねたる輕式位の所は結局、男に取りても嬉しき事の由に候へば其邊は矢張りれ手加減ものと餘計な事乍ら申添へ參らせ候、孰れにもせよ京城には落着かれず他地方へ旅立つ樣の事あるべけれども決して臺灣なぞには行かぬ方宜しく候、たゞ前樣には**暑い所は大禁物**に候、良人は世間にて云ふ美男子と云ふ候、を撰ばず肥れ太りたる人をれ撰びなさるべし、さ候はゞ花は盛を過ぎ色香は褪せ行きても青葉の茂りて綠滴る時節必ず到來致すべく候　先は右迄

あら〳〵かしこ

廣告

●諸公債株券 現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業 既製洋服卸小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目
大坂野村德七代理店
田中友吉商店 電話九九三（發電略タ）

●かれこれと迷ふこと勿れ 完全無缺の大學目薬あり

商標 登録
大學目藥
大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基きし貴重の製劑にして●流行目●トラホーム●腫目●のぼせ目●かすみ目●血目●疲目其他眼病一切に可驚奇効あり
發行所 大坂市北濱一丁目 ヘリン丸 組 參天堂藥房

ハリカ印
かぜねつの良藥 大阪の田口 ヘブリン丸
Pilulae Antifebrin 参天堂藥房謹製
京城府大門通三丁目 代理店 新井藥房 電話九〇四番 一〇六八 振替口座京城 十六番

東京流納豆大安賣

特製 寶味噌
味噌製造 漬物問屋 仁川本町三丁目 たからや 電話七三七番
御料理向

飲みすぎ食ひすぎによし ピットル散
本舗 大阪市 江戸堀 猪飼史郎 各藥店ニアリ
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 一〇六八 振替口座京城 十六番

高島易斷 旭町一丁目御嶽教 大講義 山の内

▲叮嚀▲迅速▼安價に修理可仕候▼
銃砲自轉車修繕
▲英米自轉車中古格安品澤山取揃有之候間御一見の上御買求の程願上候
京城旭町二丁目 瀧川銃砲自轉車修繕部

試驗濟 消毒牛乳
牧場直轄 京龍牛乳販賣所 京城永樂町二丁目 電話一七一〇番 一九八八番

一、土地建物抵當貸附金、月賦償却建築共尤モ確實便利且ツ迅速ニ取扱可申候ニ付直接御申込可被下候
京城黄金町二十番戸
東京建物株式會社派出所 電話一六八一番

優等清酒

商標 香氣馥郁 ひら鶴 吉金
釀造販賣元 仁川港 吉金酒店 （電話七六四番）

電話口入業 萬年社 擔保貸金 月賦賣渡 明治町一丁目 電話一八四四

齒科治療
本町六丁目（磯そば横町）
ドクトル 中村安子
女子見習募集委細面談 （電話一五八三）

酒精アルコール直輸入元
仁川花町一丁目（電話八五〇番）（電略サ）振替口座京城五八二 坂倉支店

銀行一般の業務精々御便利に取扱申候
株式會社 十八銀行支店 京城黄金町（銅峴） 電話四二〇番 五八〇番
○本店 長崎市
○日本朝鮮の各樞要地並に露領浦鹽、清國安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候
○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候
◉貯蓄預金
○一口一錢以上何程にても御預り申候
○元金百圓に付日歩一錢二厘
貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候

眼科專門
前大韓醫院眼科部長 金井豊七
京城本町六丁目（元軍司令部通り） 金井眼科醫院 電話一五五六番

M.C.C.
土耳古 紙卷 エムシーシー
專賣局定價は百本に付金九圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣
京城、平壤龜屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

日朝本鮮音音譜譜 各種品揃
音譜目錄無代進呈 小包にて御送附可仕候
大聲發音器

日本蓄音器商會 朝鮮總代理店
歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商
京城本町 辻屋 電話二四八番 振替口座八七番

銘酒 誠
仁川山根町 深見釀造場

齒科診療
京城本町二丁目三越呉服店前 野田齒科醫院
仁川仲町三丁目末永呉服店隣 野田齒科醫院分院

各種上等石炭
△日本産石炭名▽
金録 高島 唐津 江谷
△平壤産無煙炭名▽
卵形煉炭 瓦形煉炭 無煙粉炭
石炭直輸入商
西崎商店 京城西小門通四十七番 電話七二七番

朝鮮 補血強壯無比の珍菓

名産 人蔘清
人蔘蜜漬 人蔘漬 人蔘飴
製造元 海市商會 （振替口座京城四八番）
本店 京城本町三丁目（電話二五〇番）
第一支店 同本町一丁目（電話一三五四番）
第二支店 同本町五丁目（電話三二二番）
大邱支店 大邱元町一丁目（電話三二〇番）
木浦支店 木浦銀座通
工場 京城永樂町一丁目（電話一九〇二番）


懐中錦 優秀なる口中香劑 JINTAN 仁丹
●精神を快活に、胃腸を強健に、食事を進め、酒タバコの毒をけし味を増す
諸君欠かさず御服用あれ
朝鮮代理店 京城新井藥房

二羽鶴
酒は向上の氣を養ひ愁の眉を開く
愁ふる人は二羽鶴を召せ
宅合名會社仁川支店

絕對也
英國製自轉車 コンマンダー號
理想 具輪 COMMANDER BIRMINGHAM ENGLAND
コンマンダー號ハ價格ノ低廉ニ於テ絕對也
コンマンダー號ハ機械ノ堅牢ニ於テ絕對也
コンマンダー號ハ廻轉ノ輕快ニ於テ絕對也
コンマンダー號ハ裝置ノ巧緻ニ於テ絕對也
以上ノ絕對的理由ヲ以テ弊商會ハ諸君ニ同車ヲ推薦スル事絕對也
京城本町二丁目 織居商店自轉車部 （電話四〇八番）

株式會社第一銀行京城支店
資本金 壹千萬圓 積立金 八百參拾五萬圓 明治六年設立
京城南山町三丁目 電話一一番 六一二番 振替貯金口座京城一二番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

精神 感應（催眠術）無催眠 諸病治療 惡癖矯正
◎◎ 南山町一丁目 六十四番戸ノ一 大剛庵

キ 汽船出帆廣告
安東丸 二月十三日前九時
天草丸 二月廿五日前七時
成歡丸 二月廿三日前九時
海利丸 二月廿五日前九時
三省丸 二月廿六日前十一時
鎮南浦行 濟州行 中州行 海州行 大邱芝行
仁川本町四丁目 電話一七三番
合資會社 秋田商會船舶部 仁川本町一丁目 電話七五〇番
秋田商會船舶部荷扱所 仁川本町海岸通 電話四一九番
荷客取扱所 柴田回漕店 仁川本町四丁目 電話五二二番
山本回漕店